

館内案内

■新館

新館は、常設展示室、ジョン万次郎展示室、企画展示室の3室があり、歴史資料（複製含む）の展示を通して、龍馬の魅力を見ることができる施設です。



常設展示室



ジョン万次郎展示室

■本館

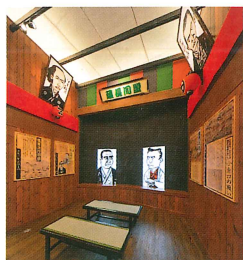
映像や音声で、龍馬と彼が生きた幕末について、楽しく知ることができる体験型展示中心の施設です。記念撮影や図書コーナー、眺望抜群の屋上やミュージアムショップなどもあります。



地下2階 幕末写真館



屋上



2階 幕末広場「薩長同盟」

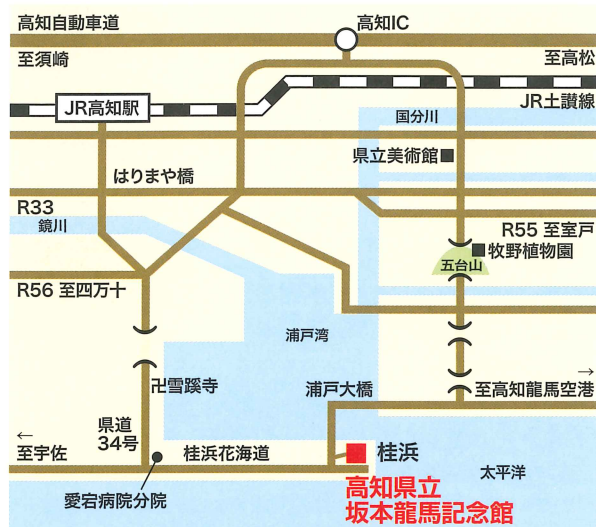
利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（最終入館 午後4時30分）
休館日 年中無休
入館料 一般（18才以上） 企画展開催期間／700円
展示替の期間／490円
団体（20名以上） 企画展開催期間／560円
展示替の期間／390円
*消費税増税に伴う料金改定を行う場合があります
高校生以下／無料

◆以下の手帳をお持ちの方（ご本人様）は無料となります。

- ・高知県または高知市の長寿者手帳所持者
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護の方1名

案内マップ



- 駐 車 場 普通車42台（うち障害者専用駐車場2台）・バス4台
- 交通機関 とさでん交通バスまたはMY遊バス「桂浜」行き「龍馬記念館前」下車徒歩2分

高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

〒781-0262 高知市浦戸城山830
TEL (088) 841-0001 FAX (088) 841-0015
<https://ryoma-kinenkan.jp>

高知県立坂本龍馬記念館
The Sakamoto Ryoma Memorial Museum

ミュージアムカレンダー

Museum Calendar

2019.4 - 2020.3



写真／右上から時計回りに
・オリジナル龍馬フィギュア（本館2階）
・坂本龍馬書簡（慶應2年12月4日、坂本権平・家族一同宛）
・平成30年度連続講演会の様子
・幕末写真館（本館地下2階）



企画展 ★各企画展の会期中の各月第3土曜日(14:00～)には担当学芸員によるギャラリートーク(展示解説)を開催いたします!参加は無料です(要観覧券)。ぜひ、ご参加ください!

**「志士の肖像
—公文菊僊と龍馬を描いた絵師たち—」展**

●4月27日(土)～7月15日(月・祝)



高知出身の絵師・公文菊僊(1873～1945)は、維新の志士、とりわけ坂本龍馬の肖像画制作に情熱を傾け、現在でも龍馬の肖像画は非常に多く残されている。肖像画には、著名人の賛や歌が入ったものや、立位でも足元が靴のものと足袋のものがあるなど、比較するとさまざまなバリエーションが見られる。明治40年(1907)に発足した土陽美術会にも籍を置いて活動しつつ、生涯肖像画制作に没頭した公文菊僊の足取りをたどりながら、肖像画から見た近代における志士顕彰の歴史を探る。

◀ 公文菊僊画 坂本龍馬肖像

「龍馬をめぐる女たち」展(仮称)

●7月23日(火)～9月25日(水)

龍馬は自分のことを「僕は男振りは悪いが矢張り(女が)惚れる」と言ったという。実母・幸や継母・伊與。3人の姉たち。恋人といわれる加尾、佐那や妻お龍。龍馬の周りにはいつも女たちがいる。彼女たちを通じて龍馬の魅力を探る。

龍馬の姉・乙女が使った帯地 ▶
(岡上汎告氏所蔵)



「維新十傑」展(仮称)

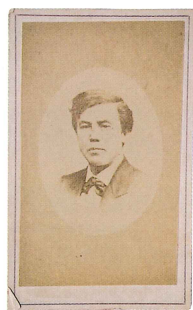
●前期 10月5日(土)～11月4日(月・休)
●後期 11月8日(金)～12月10日(火)

維新の十傑については、様々な人が言及しており、維新三傑ほど定説化しているものではない。伊藤痴遊の『実録維新十傑』は龍馬を含めた10人を選出しており、それに基づき関連資料を展示する。

採り上げる人物は次の10人。西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允、岩倉具視、三条実美、勝海舟、吉田松陰、高杉晋作、中岡慎太郎、坂本龍馬。



▲ 坂本龍馬



▲ 木戸孝允

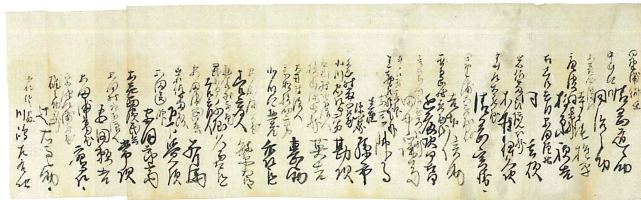


▲ 大久保利通

「長宗我部遺臣と土佐の郷土」展

●12月21日(土)～4月下旬 ※会期中展示替あり

幕末の土佐藩では、龍馬をはじめ郷土という身分から出た者が多く活躍した。郷土は全国各地にみられる身分だが、なかでも戦国大名長宗我部氏の遺臣(一領具足)が、新たに入国した山内氏によって郷土として取り立てられた土佐藩の例は著名である。長宗我部時代を起点として、江戸時代初期の制度化を経て、社会のなかでどのような変遷をたどり定着していったのか、土佐藩の郷土という身分を詳しく紐解く。そして、幕末を迎え、郷土が続々と政治活動に身を投じていったさまを紹介する。



▲ 野根山二十三士等名前書上
(高知県立坂本龍馬記念館所蔵「土佐藩京都藩邸史料」より)

イベント ※詳細はチラシ・ホームページでご確認下さい。

連続講演会 テーマ **幕末キーパーソン
—龍馬をめぐる人々**

日時 6、8、10、12、2月の各月1回(土・日・祝日)
場所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール
定員 100名(要事前申込・先着順)

連続講演会は、ひとつのテーマについて複数の研究者の方にお話しいただく講演会です。今回は、坂本龍馬に関する西郷隆盛、木戸孝允、勝海舟ら5人の人物についての講演を通じて、龍馬の姿を見つめていきたいと思ひます。
■お好きな回だけの聴講も可能です。



▲ 昨年度の連続講演会の様子

夏休み 龍馬フォーラム

日時 8月4日(日) 13:00～17:00
場所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール
定員 20名程度 *申し込み 7月上旬から申込受付(予定)

子どもたちの「調べる」「考える」「表現する」力を育てていくことをめざした、坂本龍馬や幕末維新をテーマにした「学びの場」です。

夏休み りょうま工作教室

日時 7月下旬～8月中旬
場所 高知県立坂本龍馬記念館 新館ホール
定員 20名程度
*申し込み 7月上旬から申込受付(予定)

歴史や龍馬への関心を深める工作教室を開催します。
小学校低学年向と高学年向の2コースを開催予定です。



▲ 昨年度開催「刀づくりに挑戦」の様子

龍馬記念館無料開館日 11月15日(金)

龍馬の誕生日、そして当館の開館記念日である11月15日を無料開館日とし、どなたさまも無料でご入館いただけます。

龍馬まつり in 記念館 11月中旬



多くの方に坂本龍馬記念館を楽しんでいただける、多彩なイベントを新館ホールの他、館内の各地で開催します。

◀ 昨年度の様子

本館
2階



海の見える・ぎやらしい

本館2階“海の見える・ぎやらしい”では、眼下に広がる太平洋と龍馬に因んだアート作品などを楽しめます。